

月潟コミュニティ協議会会報

'21.1.29
第41号



月コミ通信

■発行責任者
月潟コミュニティ協議会
会長 金子 周永
新潟市南区月潟535番地
TEL. 372-6905

令和3年の新春を迎え、皆様におかれましては
健やかに過ごされたこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の広がりに
よ、日本中で様々な催しや行事、事業が中止や延
期となりました。月潟地域においても同様に、コ
ミュニティ協議会で計画した多くの事業だけでな
く、伝統の月潟祭りや大道芸フェスティバルが中
止となるなど、これまで経験したことがない特異
な年となりました。

新年を迎えても、全国的に新型コロナウイルス
感染症の蔓延は続いており、国では首都圏を中心
に「緊急事態宣言」を発出し、終息に向け懸命な
努力を続けています。

このように、なかなか終息の見通しが立たない
状況ではありますが、これからの当協議会の事業
については、感染状況を考慮しながら実施できる
ものから行っていきたいと思っておりますので、引
き続き当協議会にご支援とご協力をお願いいたし
ます。

感染症が一日も早く終息することを願うととも
に、皆様方のご多幸を祈念し、ごあいさつといた
します。

新年の ごあいさつ



月潟コミュニティ協議会
会長 金子周永



月潟地区文化祭



▲ 保育園児さんの作品も

月潟地区文化祭が10月25日(日)、月潟農村環境改善センターにて開催されました。コロナウイルス感染症拡大防止のため、入場口で手指消毒や検温など感染対策を徹底しての開催となりました。また、コロナ禍の影響で小中学校の文化祭は開催されず、地区文化祭だけの単独開催となりましたが、多くの方からご来場いただきました。



▲ 力作が並びました

来場者を楽しませていました。また、毎年好評の月潟鎌組合による刃物研ぎも行われ、当日は子供から大人まで大勢の来場者で賑わった1日となりました。

2020お休み処「獅子の里」

お休み処「獅子の里」は、「市」活性化とお年寄りの憩いと見守りの場所としてスタートし、4年目となりました。月潟コミュニティ協議会からボランティアの依頼を受け、気心の知れた近所の4人でお手伝いをしています。

「皆さん、お元気でしたか」の声掛けからスタートし、沢山の人がとの出会いを楽しみながら、お茶やコーヒーを提供(無料)しています。また、月1回開催の健康塾やランチも大好評でした。



▲ 天気の良い日は外での「お茶の間」

しかし、昨年2月からの新型コロナウイルス感染拡大により、皆さんの安全第一を考え、無期限の休館となりました。半年間の休館中に、「獅子の里」を楽しみにしてくださる方々や市場の業者さんたちからは再開を待ち望む声をいただきました。

そこで屋外での密にならない形にして、受け入れ態勢を整え、9月より再スタートをすることができました。いつもの方々が普通にお茶とお話を楽しんでいらっしゃる姿を見て、スタッフ一同ホッとしています。



▲ 非接触型体温計による体温チェック

寒くなってからは屋内となり、出入口が一つのため、空気清浄機と換気扇をフル活用しています。密になりにくい安全性とアルコール消毒、検温等一人一人の健康チェックをしっかりと守り、他の「お茶の間」のモデルになれるよう、12月には専門の方の指導を受けました。安心して立ち寄れる、ルールを守るコロナの年のお休み処「獅子の里」を目指して努力したいと思います。

1月からの冬季期間はお休みをさせていただき、春に又「お元気でしたか」とお声掛け、おもてなしをしたいと思っています。(「獅子の里」ボランティアスタッフ)



▲ パーテーションの組立体験



▲ 感染症対策用物品の確認

11月15日(日)月潟地区公民館で月潟地区防災訓練を行いました。今年にはコロナ禍の中、各自治会より2名、コミ協役員、計23名と少数での訓練となりました。
 浸水ハザードマップと総合(洪水)ハザードマップの説明では、「このマップの避難所は南区の避難所しか表示されていないが、西部地区の避難を想定した場合、河川の水が流れる方向から見て、潟東地区の

避難所も表示するべきでは」といった活発な意見が出されました。
 また、感染症対策を踏まえた避難所運営訓練では、受付でのアルコール消毒、非接触型体温計による体温チェックを体験。避難所運営では居住区分や役割分担、配備されている感染症対策用物品の確認を行い、実際にパーテーションを組み立てまし

月潟地区自主防災訓練を実施

〈新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所運営を確認〉



▲ 上手にお正月飾りができました



▲ つきがた親善大使の増子ゆかりさんも参加

12月12日(土)、月潟コミュニティ協議会と月潟地区公民館で共催し、世代間交流事業を開催しました。
 今回も新潟市花育マスターの中野節子さんに来ていただき、新年を華やかに彩るお正月飾りを作りました。十日町産の稲わらのリースを土台に、松やヒバ、南天に似た赤い実などで飾り付けしました。水引を結んでくくりつける作業は子どもたちには難しかったようで、何度もやり直していました。こうして出来上がったお

飾りはなかなか立派で、子どもたちも満足げな様子でした。当日は、つきがた親善大使の増子ゆかりさんからも参加いただき、みんなといっしょにお飾りづくりを楽しみました。例年この後に餅つきをして皆でいただくのですが、残念ながら今回は新型コロナウイルス感染症防止のため中止となりました。次回はウイルスを克服し、おいしいお餅を食べたいものです。



お正月飾りを作ろう!!

月空ランタンフェス2020

～舞い上がれ大空へ希望を乗せて～ 月潟商工会青年部長 木下健一



▲ 「願い」「希望」を込めた短冊をスカイランタンにつけて……



▲ 会場に設置されたオーナメント

2020年12月27日(日)、月潟小・中学生を対象とした「願い」や「希望」を込めた短冊をスカイランタンにつけ、夜空に打ち上げるイベントを月潟小学校体育館・グラウンドを会場に開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一年を通して行事やイベント等が中止となり、例年夏休みに開催していた「つきがた子ども王国」も中止を余儀なくされ、子どもたちが楽しみにしていた地域行事もほぼ全てが中止になりました。

そこで青年部みんなで、このコロナ禍の状況下で何かできることはないかと考え、検討し試行錯誤を重ねました。そして、子どもたちへの希望の光や思い出作りとして、**スカイランタンに未来への「希望」や「願い」を乗せ**、明るく希望を持った新年のスタートを切れるきっかけになればと想い開催しました。

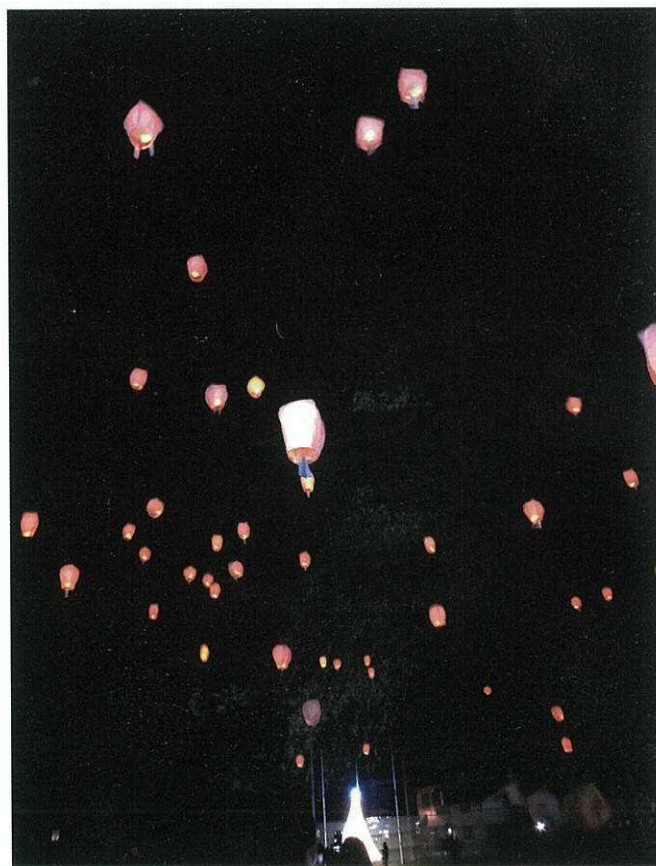
当日は、感染予防対策を徹底し参加者の人数を制限、二部制に移行し行うことにしました。みんなの願いが天に通じたのか、この時期としては珍しく好天に恵まれ、無事に夜空に打ち上げることができました。ふわふわと浮かぶ様子はとても幻想的であり、私自身も感動しました。

このイベントを通して感じたのは、みんなが力を合わせることで大きな力になること、この状況下で普段以上にあらゆる事を想定し考えること。その結果として無事にやり終えることができ満足感もありました。今回の経験や反省を生かし、次へと繋げていきたいと

考えています。

最後になりますが、ご協力ご参加頂いた全ての皆様に感謝を申し上げます。

ありがとうございました。



▲ 大空へ舞い上がるスカイランタン